

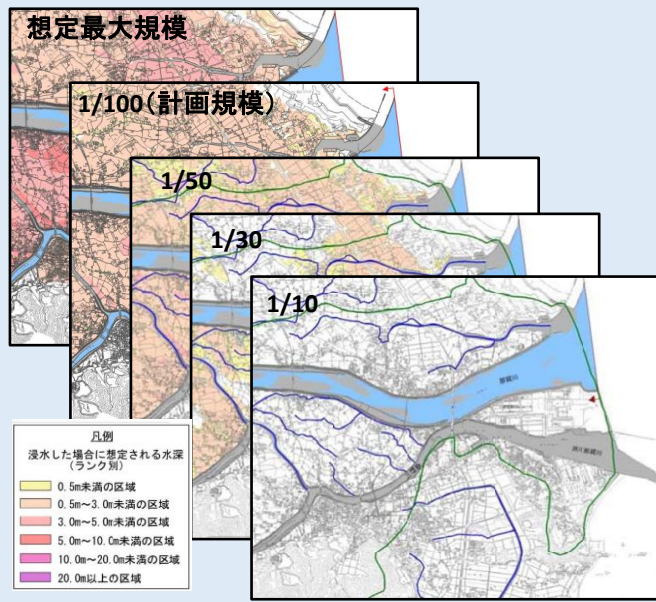
内外水統合型水害リスクマップの作成・検討 (案)

■気候変動を考慮した那賀川・派川那賀川・桑野川を対象とした外水氾濫及び支川や下水道等による内水氾濫を一体的に整理した内外水統合型水害リスクマップを作成し、公表予定。

那賀川河川事務所では、これまで那賀川及び派川那賀川・桑野川本川を対象に、洪水浸水想定区域図並びに多段階浸水想定図・水害リスクマップを公表してきた。令和6年7月に気候変動に対応した那賀川水系河川整備基本方針の変更を踏まえ、整備段階毎（現況、短期、中期、中長期）に気候変動を考慮した外水氾濫に関する見直し及び支川・下水道等による内水氾濫解析を行い、一体的に整理した内外水統合型水害リスクマップを作成し、公表する予定である。

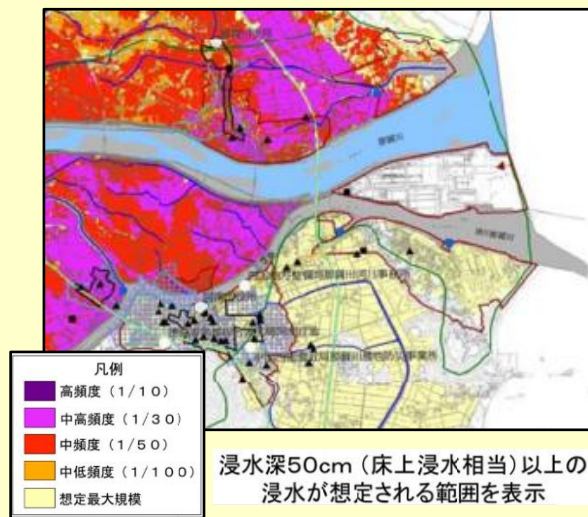
【多段階の浸水想定図】

想定最大規模に加え、高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎（1/10、1/30、1/50、1/100（計画規模））に作成した浸水想定図



【水害リスクマップ】

多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎（0.5m未満、0.5m以上（床上浸水相当）、3.0m以上（1階居室浸水相当））に重ね合わせて作成した図面



【内外水統合型水害リスクマップ】

その他の河川や下水道からの氾濫による浸水を内外水一体型で表現した図面

